



2019年2月17日（日）開催 「さくら並木プロジェクト 植樹会 in 石巻市福貴浦」参加レポート



株式会社コックス（本社：東京都中央区日本橋浜町 1-2-1、代表取締役社長：寺脇栄一、以下当社）は、2019年2月17日（日）、宮城県石巻市福貴浦の防災集団移転地にて開催された「さくら並木プロジェクト植樹会」に参加しました。当社からは4名の従業員が参加し、7本の桜を植樹しました。植樹会では地域の方々との交流や、食事会も開かれ大変有意義な時間を過ごすことができました。当社が寄贈・植樹した桜はこの度、17本になりました。



↑植樹の様子



↑苗木の傍に置く石板



↑植樹場所

さくら並木を造成することで、東北の未来を守ります。

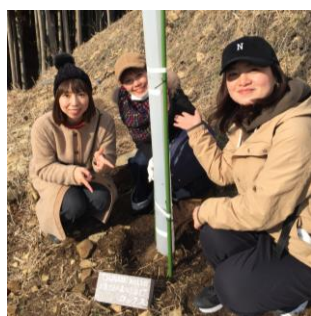
当社は2014年より、「さくら並木プロジェクト」に参加しています。当プロジェクトは、東日本大震災時の津波被害の風化防止と、将来起こりうる津波発生時の避難目標とする為に、津波の到達した地にさくら並木を造成する、「NPO 法人さくら並木ネットワーク」の活動です。当社はこの活動に賛同し、植樹会のほか支援商品販売を行ない、売上額の一部を桜の苗木の寄贈・植樹として支援しています。

今回の植樹会には、地域の方や県内のボランティア、活動に賛同するアパレルブランドなど約80名が参加し、合計50本の桜を植樹しました。植樹地は鹿が多く生息する場所のため、桜の苗木にはカバーが着けられ、桜の成長を助けます。

昼食会では、餅つきや地元の方から牡蠣汁が振舞われ、その地ならではの食事に心も温まりました。参加した従業員からは「地元の方に地震当時の話を聞け、同時に今の被災地を自分の目で見ることができ、貴重な体験となった」「また機会があれば参加したい」などの声が聞かれました。



↑シンボルツリーの桜



↑植樹した苗木と一緒に



↑牡蠣汁



↑餅つきの様子

植樹会 概要

日 程：2019年2月17日（日）
開 催 場 所：宮城県石巻市福貴浦 防災集団移転地
福貴浦は牡鹿半島の中部にあり、
牡蠣の養殖が盛んな漁港を持つ地域。
震災による津波で 115 棟の内 112 棟が全壊被害、
被災率 45.7%という深刻な被害を受けた場所。
スケジュール：09：30 仙台駅集合
12：00 昼食会
13：00 植樹会
17：30 解散



↑漁港の様子

SDGs 達成目標

当社では「SDGs」への取り組みを行なっています。
今回の「さくら並木プロジェクト 植樹会」では2つの目標を達成しています。

11：住み続けられるまちづくりを
17：パートナーシップで目標を達成しよう

11 住み続けられる
まちづくりを



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



さくら並木プロジェクト 2019 支援商品

当社は「さくら並木プロジェクト」支援商品を2014年より販売しています。今年度は2019年2月8日（金）、当社主要ブランド「ikka」メンズより、カーディガンとカットソーを発売しました。カーディガンは表面がポコポコとした触り心地の良い素材を使用し、春らしい装いをお楽しみいただけます。カットソーは鹿の子素材を使用し、今年らしいハイネックの商品です。

これらは全国の「ikka」店舗、公式オンラインストアなどのWEBストアにてお買い求めいただけます。



↑ポップコーンVカーディガン



↑リブラインハイネックTシャツ

コックスはこれからも、一日も早い東北の復興と発展を願い、ファッションを通じた支援活動を継続してまいります。